【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公開番号】特開2016-38170(P2016-38170A)
【公開日】平成28年3月22日(2016.3.22)
【年通号数】公開・登録公報2016-017
【出願番号】特願2014-162501(P2014-162501)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　13/20　(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　13/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/00　４０１Ｅ
Ｆ２４Ｆ　1/00　４０１Ｄ
Ｆ２４Ｆ　1/00　３６１Ｚ
Ｆ２４Ｆ　1/00　３６１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年7月11日(2016.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明に係る空気調和機の室内機は、内外接続線によって室外機と電気的に接続される空気調和機の室内機であって、筐体と、前記筐体の内部に設けられた室内熱交換器と、前記室内熱交換器の側端の少なくとも一部を覆うドレンカバーと、前記ドレンカバーよりも前記筐体の前面側に、前記内外接続線が接続される端子台ユニットとを備え、前記ドレンカバーは、前記内外接続線を前記端子台ユニットに案内する配線ガイドを有するものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内外接続線によって室外機と電気的に接続される空気調和機の室内機であって、
筐体と、
前記筐体の内部に設けられた室内熱交換器と、
前記室内熱交換器の側端の少なくとも一部を覆うドレンカバーと、
前記ドレンカバーよりも前記筐体の前面側に、前記内外接続線が接続される端子台ユニットとを備え、
前記ドレンカバーは、
前記内外接続線を前記端子台ユニットに案内する配線ガイドを有する
ことを特徴とする空気調和機の室内機。
【請求項２】
前記端子台ユニットは、前記内外接続線と接続される接続部を有し、
前記接続部は、前記筐体の正面視において、前記配線ガイドの直上に設けられている

ことを特徴とする請求項１に記載の空気調和機の室内機。
【請求項３】
前記配線ガイドは、
前記筐体の前面側に向かうにつれて上方に傾斜する
ことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の空気調和機の室内機。
【請求項４】
前記配線ガイドは、前記側端から外方に向かって開口し前記内外接続線が収納される溝部を有する
ことを特徴とする請求項１～請求項３の何れか一項に記載の空気調和機の室内機。
【請求項５】
前記配線ガイドを覆う配線カバーを備え、
前記配線ガイドが前記配線カバーで覆われた状態において、前記配線ガイドの内面側及び前記配線カバーの内面側には挿入空間が設けられ、
前記挿入空間よりも前記筐体の背面側において前記挿入空間の内部と前記挿入空間の外部とを連通する第１開口部と、
前記挿入空間よりも前記筐体の前面側において前記挿入空間の内部と前記挿入空間の外部とを連通する第２開口部とが設けられている
ことを特徴とする請求項１～請求項４の何れか一項に記載の空気調和機の室内機。
【請求項６】
前記配線ガイドは筒形状であり、
前記配線ガイドの内面側には挿入空間が設けられ、
前記挿入空間よりも前記筐体の背面側において前記挿入空間の内部と前記挿入空間の外部とを連通する第１開口部と、
前記挿入空間よりも前記筐体の前面側において前記挿入空間の内部と前記挿入空間の外部とを連通する第２開口部とが設けられている
ことを特徴とする請求項１～請求項３の何れか一項に記載の空気調和機の室内機。
【請求項７】
前記室内熱交換器よりも前方に設けられる電気品箱を備えた
ことを特徴とする請求項１～請求項６の何れか一項に記載の空気調和機の室内機。